

須賀川市公有財産活用に関するサウンディング型市場調査結果概要

令和4年3月

1 調査の目的

公民連携の取組みにより、財源の確保や市民サービスの継続的な実施を図っていくため、公有財産活用事業の市場性や適切な条件等を把握し、今後の効果的な事業実施に繋がる可能性を調査する。

2 調査の内容

| | |
|------|--------------------------------------|
| 調査対象 | 全ての公有財産が対象 |
| 対象事業 | (1)ネーミングライツ (2)広告事業 (3)土地の利活用 (4)その他 |
| 対象者 | 法人又は法人グループ（個人での申込は不可。） |

3 実施スケジュール

| 内容 | 時期 |
|---------|--|
| 実施要領の公表 | 令和3年5月17日（月） |
| 受付期間 | 【当初】令和3年5月17日（月）～令和3年6月30日（水） 【延長後】令和3年8月24日（火）～令和3年12月24日（金） |
| 個別対話 | 【当初】令和3年6月25日（金）～令和3年6月30日（水） 【延長後】随時実施 |

4 調査の参加者

19社から21件の提案がありました。

| 内容 | 件数 | (当初) | (延長後) |
|-------------------|----|------|-------|
| ネーミングライツに関すること | 1 | 1 | |
| 公園の利活用に関すること | 1 | 1 | 1 |
| 未利用地に関すること | 4 | 3 | |
| 既存施設の活用に関すること | 3 | 3 | |
| 市営住宅の集約化に関すること | 1 | | 1 |
| 指定管理者制度に関すること | 1 | 1 | |
| 牡丹台アメニティゾーンに関すること | 10 | 6 | 4 |
| 計 | 21 | 15 | 6 |

5 調査結果の概要

| 内容 | 主な対話概要 |
|-----------------------|--|
| ネーミングライツに関する提案 | <p>①インターチェンジに近いなど立地的条件から、須賀川市文化センターや須賀川アリーナは、ポテンシャルがあり、施設の利用頻度や価値を高めることにより、一層のネーミングライツを検討できる。</p> <p>②会社名ではなく、商品名などでのネーミングライツが可能であれば検討できる。</p> <p>③ネーミングライツに関しては、金額や特典など具体的な提示があると、より検討しやすい。</p> |
| 未利用地や既存施設の活用に関する提案 | <p>①市への定住を促進するため、市の未利用地を活用した住宅地などの整備を検討できる。</p> <p>②施設の解体費などを含めた市有地の公売について検討できる。</p> <p>③公共性の高い事業提案の場合は、土地や建物を優先的に取得できるなどのインセンティブがあると検討しやすい。</p> <p>④Park-PFI について、現在行われている翠ヶ丘公園での事業動向によってその他の公園においても検討できる。</p> <p>⑤老朽化した市営住宅について、複数の市営住宅を集約化・建設し、事業者が維持管理等のオペレーションまで一体的に担う方法が検討できる。</p> |
| 牡丹台アメニティゾーンの利活用に関する提案 | <p>①異業種などとの連携を行うことにより、幅広い事業展開が検討できる。</p> <p>②牡丹園を活かした事業展開や大学等の連携による研究施設を作ることにより、教育の場や雇用の場としての提供ができる。</p> <p>③スマート農業の導入により、先進的な農業を展開できる可能性がある。</p> |
| 指定管理者制度に関する提案 | <p>①民間事業者ならでの、音楽団体や文化人など幅広いつながりを活かした企画により、効果的な施設の管理運営が検討できる。</p> <p>②企画の継続性を考慮し、指定管理期間が 10 年程度の長期設定であれば検討できる。</p> |

6 調査結果

今回の調査により、ネーミングライツや未利用地、既存施設の活用など、一定条件が調った際には、事業者において検討が可能であるとのこと意見をいただきました。

今後は、本調査の結果を踏まえ、「須賀川市公民連携取組方針」などに基づき、財源の確保や市民サービスの継続的な実施が図られるよう、効果的な事業実施に活かして参ります。

【担当】須賀川市企画政策部企画政策課企画経営係

TEL 0248-88-9184